



# ～ドイツ遠征を終えて～

笑った！泣いた！焦った！ドイツ遠征！  
☆すべての人にありがとう☆



## 【遠征を終えて】つびやき → 深澤大地

このドイツ遠征は3年間の中でみんなが楽しみにしていたものだと思います。初めて飛行機に乗る人もいれずでに乗ったことのある人もいました。飛行機で13時間近くみんなで楽しんだ。ドイツに着いたのは夕方6時くらいでした。その日からホームステイがあり、1人なのか2人なのかワクワクしながら待っていました。1人の人は戸惑いながらも言葉の問題をクリアしていたと思う。逆に2人の人はどちらか1人が話せばいいから自分は1人でよかったと思う。

ホームステイ先で学校に行ったり町に出かけたりしていい経験をしました。3泊4日の短いホームステイだったけど、みんな仲良くなり別れの日には思わず感情あふれて泣いてしまった人、楽しく別れた人もいた。自分は別れたときは寂しい気持ちで一杯でした。そして別れた日からヒルデンのチームと合同合宿！みんなドイツまで来て合宿かよ～とちょっとテンション下がりめ・・・でもいざとなればしっかり頑張りました！ヒルデンのチームは高校生で年上なのでみんなビビリ気味。でも試合となればみんな戦い、自分より大きい選手に負けないように必死でした。試合は負けただけ良いものが1人1人の中でできたと思う。合宿最終日はヒルデンの人たちとみんなでプール。みんな最後なので大はしゃぎでした。ドイツ遠征も残り3日。観光にも行きみんなで買い物にも行きました。5時間近く自由行動でした。道もわからぬまま買い物へいきました。とてもいい経験ができました。誰か迷う奴がないか心配でしたが誰も迷うことなく時間内に帰ってきてすごいなと思いました。

このドイツ遠征を通して自分にプラスになったことがたくさんできたと思います。またドイツに行きたい。また違うところにも行ってみたいと思った人もいるだろう。

最後の飛行機内は、楽しんだ人や疲れてずっと寝ていた人もいました。日本に帰れば高円宮杯が始まると思っていたと思う。優勝というものを確かむ為にしっかりやっけていこうと思いました。

## 【遠征を終えて】つびやき → 平出涼

僕はこの遠征を通して学んだこと、そして悔いがのこってしまったことがいくつかあった。

学んだことといえば、まずホームステイで僕の方後との英語を分かろうとしてくれたり、伝えるのは難しいのに色々と話しかけてくれたベル家の優しさや思いやりを私生活、そしてサッカーでも生かしていけたらいいと思います。サッカー面で学んだことは僕らがやろうとしているグループで崩すサッカーが出来ているときは、相手が高校生だろうと良い形で崩せてチャンスを作りだすことができるのだと分かった。逆にロングボールが多くなるとリズムが悪くなり失点につながってしまうことも分かった。

悔いが残ってしまったのはホームステイでマーヴィンやお父さんとはたくさん話せたけど、妹のヤネやお母さんとはあまり話す機会を作れなかったことです。だからまたこういう機会があれば自分から話しかけることを意識していきたいです。

## 【遠征を終えて】つびやき → 堀ノ内建伍

### ホームステイ編

僕は若槻とホームステイをしました。俺らはドイツ語の本を持っていきました。家の人には本を見せて欲しい物や挨拶をしました。そこには3人兄弟でした。そしてその家はメシを1日2食しかくれませんでした。なので腹が減ってしかたありませんでした。俺と若槻は近くにあった町に行ってご飯を食べました。そして夜になり風呂を借りました。けど風呂はなんかカビみたいなものが生えていました。僕は具合悪くなりそうでした(笑)後、そこのお母さんはかなりため息ばかりついていて嫌な気分になりました。けど家族は仲が良く、こんなに仲が良い家族は初めて見ました。

こんなホームステイでしたが、とてもいい思い出となりました。とてもいい経験ができました。

### サッカー編

ドイツ人は身長が高くてびびった。けど試合をやってみると日本も技術ではそこまで差が無かったと思います。そしてドイツ人はとても体の当たりが強かったです。その部分は日本よりかなり強いと感じた。この試合での経験は自信になりました。日本に帰っても生かしていきたい。こんな経験はなかなかできないからとても良かったです！

## 皆川新一のつぶやき

関係各位のご協力、そして選手たちの家族の皆様のご理解があってこそ、この遠征が実行でき、そして今無事に帰国を迎えることができました。本当にありがとうございました。大きな怪我、アクシデントもなくみんな元気に10日間を過ごしてきました。今回は、一人で全てをコーディネートしてきたこれまでとは違い、ドイツ滞在中も経験がある土橋コーチが同行し、チームの監督を務めたということもあり、私は通訳と車の運転手として活動全体の監視役（笑）に徹することができ（^^）、ゆっくりのんびり期間中、ドイツを満喫することができました。初めて行ったドイツ国内での合宿、Bitburger はビールの街、俺にとっては天国のような街、しかし、子供たちをおいて飲んでばかりいられた・・・とは言ってもやはりここはドイツ、ビールの誘惑には勝つことができず、ユアー氏と夜遅くまで飲んでしまいました。

中学3年生・・・という年代に、ドイツ遠征・・・ホームステイ、遅いのか早すぎるのかわかりませんが、少なくとも遠征を行った選手たちには非常に刺激になった10日間だったと確信しています。これから進んでいく人生の中で、この体験が彼らにとってすごく貴重で、ずっと心の奥に思い出として残っていてくれたらなーと思います。

Ich muss allen Leute fuer unserm Trainingslager in Deutschland Dank sagen, Herr Jur und die Mannschaft des Jur, kommen sie bitte nach Japan, unsere Stadt. Ich hoffe, das zu schaffen. Vieren Dank fuer Alles. Bis bald!



## 土橋功のつぶやき

びっくりすることがある。それはこのドイツ遠征で選手は大きく成長するという事。たかが9日間、されど9日間である。特にホームステイはとてもよい経験だ。言葉は通じない、食事も違う、文化も違う、全てが初めて経験すること。親のありがたみなんて、すごく感じたんじゃないかな？！その中で多くのものを感じて学んでいく。何でも1人でやっていくことによって、日本に帰ってきたときにはたくましくなったな～なんて思う。

そして、世界のサッカーに触れること。激しさやボールへの執着心、勝負に対するこだわりなど多くのものを学んだと思う。でもひとつ心残りは本場ブンデスリーグを観戦できなかったこと！この迫力は体験させてあげたかった。機会があれば海外の試合を観戦してね。感動するから！

また、この遠征で選手たちの新しいところを発見ができたことはとても面白かった。環境ががらりと変わると人も変わるんだね。というよりは本来持っていたものだろう！

俺は過去の出来事すべてがあったからこそ今の自分がいる。（失敗も成功もしたなあ～。辛いことなんてくさんあったよ・・・）何かひとつでも欠けていたらなかったと本当に思うよ。良くも悪くもすべてが自分の経験で自分の糧になっていると実感する。だからこそみんなにも「瞬間」を大切にしたいと思う。無駄なことなんて何一つない。何事にも必ず意味があるはず！失敗を恐れて何もしなかったら可能性はゼロなんだ。でもチャレンジすることで可能性は出てくるんだよ。もっと自分の可能性を信じて。

このドイツ遠征が人間としての幅を広げてくれると思う。ありがとうドイツ！

日本から世界にみんな羽ばたけ！！

